



令和2年度

埼玉県公立高等学校入学者選抜  
学力検査結果について

埼玉県教育委員会



埼玉県のマスコット「さいたまっち」

# I 埼玉県公立高等学校入学者選抜学力検査結果について

## 1 調査の目的

令和2年度埼玉県公立高等学校入学者選抜学力検査（2月28日実施）の結果分析に基づいて、受検者の学力及び学習の状況について診断を行うとともに、特に誤答を分析することにより、学習指導上の問題点を発見し、県内の中学校及び高等学校等の学習指導の在り方についての資料を提供し、併せて今後の学力検査問題の作成についての参考資料を得ようとするものである。

## 2 調査の方法

令和2年度埼玉県公立高等学校入学者選抜学力検査を受検した全日制41,206名、定時制1,107名の計42,313名の答案の中から、系統別抽出法によって答案を抽出し標本とした。これらを基本答案として、各問に対する答案の内容を分析し、必要な数値を示して所見を加えた。

## 3 学力検査問題の出題の基本方針

- ① 中学校における平素の学習を重んじ、中学校学習指導要領に基づいて出題する。
- ② 基礎的な知識及び技能をみる問題とともに、思考力、判断力、表現力等の能力をみる問題の出題に配慮する。
- ③ 各教科の目標に照らして、受検者の学力を十分に把握できるように、出題の内容及び出題数に配慮するとともに、記述による解答を求めよう配慮する。

## 4 各教科の出題方針

令和2年度学力検査における各教科の出題に当たって、次の点に配慮した。

### 【国語】

- ① 国語の基礎的・基本的な内容について、できるだけ広範囲にわたって出題し、国語を適切に表現し、正確に理解する力をみるように努める。
- ② 文学的な文章と説明的な文章を理解する力をみるように努める。また、平易な古典を読む基本的な力をみるように努める。
- ③ 作文と言語事項についての問題を出題し、文章表現力や基礎的な言語能力をみるように努める。

### 【社会】

- ① 社会科の各分野（地理・歴史・公民）相互の関連を図り、基礎的な知識及び技能とともに、思考力、判断力、表現力等をみる問題を出題するように努める。
- ② 地理的分野では、日本や世界の地理的事象についての基礎的な知識及び相互関係の理解をみるように努める。
- ③ 歴史的分野では、時代の特色や推移の総合的把握及び因果関係の理解をみるように努める。
- ④ 公民的分野では、現代の社会的事象についての基礎的な知識及び今日的課題を総合的に把握する能力をみるように努める。

### 【数学】

- ① 数学の基礎的な知識及び技能をみる問題について、広範囲にわたって出題するように努める。
- ② 数学的活動を通して、数学的な表現や処理をする能力、事象を数理的に考察する能力、数学的な見方や考え方を活用する能力をみる問題を出題するように努める。
- ③ 「数と式」、「図形」、「関数」及び「資料の活用」に関する内容について、総合的に活用する能力をみるように努める。
- ④ 図形についての操作や作図を重視し、図形に対する直観的な見方や考え方と論理的に考察する力をみるように配慮する。

### 【理科】

- ① 第1分野、第2分野及び各学年の配分を考慮し、できるだけ広範囲にわたって出題するように努める。
- ② 理科の基礎的な知識及び技能をみる問題とともに、思考力、判断力、表現力等をみる問題を出題するように努める。
- ③ 自然を調べ、探究する態度を重視し、観察、実験などに関する問題を出題する。

### 【英語】

- ① 英語の基礎的な知識及び技能をみる問題について、コミュニケーション能力をみることを重視し、できるだけ広範囲にわたって出題するように努める。
- ② リスニングテストは、まとまりのある英語の話を聞いて、その概要や要点を聞き取る力をみることに重点を置く。
- ③ 平易な英語を理解する力や平易な英語で表現する力とともに、基本的な語、連語、慣用表現及び文法事項の習熟の程度をみるように配慮する。
- ④ ある程度の長さを持ち、まとまりのある英語の文章の概要や要点を読み取る力をみる問題を出題するように努める。

## 5 調査の概要

### (1) 母集団と標本数

年 度		学力検査問題					学校選択問題	
		国 語	社 会	数 学	理 科	英 語	数 学	英 語
R2	母集団	42,313	42,313	32,903	42,313	32,903	9,410	9,410
	標 本	423	423	329	423	329	329	329
H31	母集団	44,483	44,483	34,623	44,483	34,623	9,860	9,860
	標 本	445	445	346	445	346	346	346

(注) 母集団・標本には定時制受検者を含む。

### (2) 標本の平均及び標準偏差

年 度		学力検査問題					学校選択問題	
		国 語	社 会	数 学	理 科	英 語	数 学	英 語
R2	受検者平均点	56.5 (57.2)	54.6 (55.4)	66.7 (67.9)	50.3 (51.1)	51.2 (52.2)	55.2	58.9
	標本の平均	55.5	54.3	65.5	50.0	51.5	54.5	58.3
H31	受検者平均点	57.7 (58.3)	59.3 (60.3)	41.7 (42.3)	43.8 (44.5)	47.1 (47.7)	53.5	64.3
	標本の平均	57.4	59.1	41.6	43.4	46.8	54.7	63.8

(注) 学力検査問題の( )内は、全日制受検者のみの数字である。

年 度		学力検査問題					学校選択問題	
		国 語	社 会	数 学	理 科	英 語	数 学	英 語
R2	標準偏差	21.17	22.01	20.33	22.21	22.98	12.93	14.13
H31	標準偏差	17.42	22.77	16.37	22.69	23.23	10.57	14.97

### (3) 令和2年度 学力検査問題の出題数

R2 学力検査問題		国 語	社 会	数 学	理 科	英 語	合 計
問題 数 別	大問数	5	6	4	5	5	25
	小問数	25	34	23	30	32	144
	選択肢によるもの	11(44.0%)	19(55.9%)	2(8.7%)	11(36.7%)	16(50.0%)	59(41.0%)
	記述によるもの	14(56.0%)	15(44.1%)	21(91.3%)	19(63.3%)	16(50.0%)	85(59.0%)
	用語・単語	8	8	17	11	6	50
	文章表現	6	7	3	7	10	33
	作 図	0	0	1	1	0	2
配 点	選択肢によるもの	41(41.0%)	46(46.0%)	8(8.0%)	35(35.0%)	45(45.0%)	175(35.0%)
	記述によるもの	59(59.0%)	54(54.0%)	92(92.0%)	65(65.0%)	55(55.0%)	325(65.0%)

R2 学校選択問題		数 学	英 語
問題 数 別	大問数	5	4
	小問数	19	31
	選択肢によるもの	1(5.3%)	14(45.2%)
	記述によるもの	18(94.7%)	17(54.8%)
	用語・単語	13	2
	文章表現	4	15
	作 図	1	0
配 点	選択肢によるもの	5(5.0%)	37(37.0%)
	記述によるもの	95(95.0%)	63(63.0%)

(4) 年度別学力検査の各教科の平均点と受検者数

年 度		学力検査問題					学校選択問題	
		国 語	社 会	数 学	理 科	英 語	数 学	英 語
R2	平均点	57.2	55.4	67.9	51.1	52.2	55.2	58.9
	受検者数	41,206	41,206	31,796	41,206	31,796	9,410	9,410
H31	平均点	58.3	60.3	42.3	44.5	47.7	53.5	64.3
	受検者数	43,424	43,424	33,564	43,424	33,564	9,860	9,860
H30	平均点	52.8	55.9	44.0	51.7	55.9	43.7	58.9
	受検者数	44,362	44,362	34,560	44,362	34,560	9,802	9,802
H29	平均点	53.3	60.6	44.4	48.5	52.0	43.2	71.9
	受検者数	46,455	46,455	36,513	46,455	36,513	9,942	9,942
H28	平均点	57.9	63.7	51.1	39.2	57.4		
	受検者数	46,820	46,820	46,820	46,820	46,820		

(注) 各教科100点満点とし、各教科の平均点は全日制5教科受検者の得点より算出している。

(5) 教科別得点分布(全日制)





